



三菱化工機株式会社から 企業版ふるさと納税での寄付

三菱化工機株式会社から、市の「誰もが安心を感じながら暮らせる環境をつくる事業」に対し、企業版ふるさと納税を活用して、水循環型手洗い機※と同機能を有したシャワーを寄付いただき、4月10日に感謝状贈呈式を行ないました。市内に同社の工場が立地している縁から、「災害対応に役立てていただきたい」と今回の寄付が実現したもの。いただいた機器は、災害時などに活用させていただきます。ありがとうございました。

※WOTA株式会社製



NPO法人鹿行地域おこしLab.から 企業版ふるさと納税での寄付

NPO法人鹿行地域おこしLab.から、市の「安心して出産、子育てができる環境をつくる事業」に対し、企業版ふるさと納税を活用して、10万円の寄付をいただき、4月5日に感謝状贈呈式を行ないました。鹿行地域の広域連携によるまちおこしを目標とする同法人は、神栖市を含む鹿行5市に同額を寄付されています。寄付金は2023年度子育て支援事業に活用させていただきました。ありがとうございました。

住民基本台帳の閲覧状況

☎ 市民課 TEL0299-90-1140

住民基本台帳法第11条第3項および第11条の2第12項、住民基本台帳の一部の閲覧並びに住民票の写し等及び除票の写し等の交付に関する省令第3条の規定に基づき、下記のとおり2023年4月1日から2024年3月31日までの閲覧状況を公表します。

閲覧申請者	閲覧委託者の名称	利用目的の概要	閲覧日	対象範囲	閲覧件数(件)
自衛隊茨城地方協力本部長	自衛隊茨城地方協力本部 百里分駐所 所長 古家 浩徳	自衛官および自衛官候補生などの募集事務	5月16日・17日	地域：神栖市全域 対象：2005年4月2日から2006年4月1日までに出生の男女	857
日本銀行 情報サービス局 局長 上口 洋司	株式会社 日本リサーチセンター 代表取締役社長 杉原 領治	「生活意識に関するアンケート調査(第95回)のための対象者抽出	6月6日	地域：大野原四～六丁目 対象：20歳以上(2003年7月31日までに出生)の男女	15
内閣府大臣官房 政府広報室	一般社団法人 中央調査社 会長 境 克彦	「気候変動に関する世論調査(附帯調査：アルコール依存症に対する意識)」のための対象者抽出	6月9日	地域：堀割二丁目 対象：満18歳以上(2005年6月末日までに出生)の日本人男女	15
茨城県警察神栖警察署長	茨城県警察神栖警察署 地域課長 矢吹 真也	神栖市民への高齢者総合安全対策のため	2月19日・20日・21日・22日・26日・27日・28日・29日・3月1日・4日	地域：神栖市全域 対象：65歳以上(1959年2月19日までに出生)の男女	23,120

4月からのごみの出し方を再確認してください

☎ 廃棄物対策課 TEL0299-90-1148

4月1日から、ごみの出し方が変更になりました。現在、分別不良が原因で、ごみが収集されずに残ってしまうケースが多く発生しています。新しい分別方法をよく確認してごみを出しましょう。詳しいごみの出し方は、「ごみの分け方・出し方ガイドブック」や市ホームページをご確認ください。



不燃ごみが回収されないケース

不燃ごみの中に可燃ごみが混入してしまい、分別不良で収集されないケースが多く報告されています。

特に多いのは、

- 汚れの取れないペットボトルが入っているため回収されない
 - 資源とならない繊維類(汚れあり、綿入り)が入っているため回収されない
- といったケースです。

汚れの取れないペットボトルや資源とならない繊維類は、4月1日から**可燃ごみ**で出していただくよう変更となりましたので、ご注意ください。

間違えやすい点

品目	汚れが取れる場合	汚れが取れない場合
プラスチック類 ※プラマークのあるもの(トレイ・プラスチック製容器・ペットボトルなど)	資源(プラスチック類) ※ラベル・キャップを取り外す	可燃ごみ
繊維類(布製品など)	資源(古着・古布類) ※綿入りは可燃ごみで出す	
ビン・缶	資源(ビン・缶)	不燃ごみ

ごみの減量のため、資源として出しましょう

ごみ集積所の収集日

神栖地域…3月末までの収集日と変わりません。

波崎地域…可燃ごみの収集日は3月までと変わりません。不燃ごみなどの収集日は、変更となっています。詳しくは廃棄物対策課にお問い合わせください。

姉妹都市ユーリカから22年ぶりの神栖訪問

3月28日、姉妹都市ユーリカ市(アメリカ合衆国)出身のジェフリー ジェントリーさんが、相互派遣交流事業でホームステイをして以来22年ぶりに神栖市を訪れ、当時のホストファミリーである木之内英一さん(市教育長)・義人さん(波崎一中教諭)親子と再会しました。



ジェフリーさんは13歳の時に、神栖市への派遣交流に参加しました。当時を振り返り、「まだ幼く不安もありましたが、木之内さんご家族が温かく迎え入れてくださり、とても感謝しています。また、異文化に触れ、多くの学びを得たことが貴重な体験でした」と話しました。

今回の訪問は、ジェフリーさんが仕事で来日するにあたり、ホームステイ時の住所を頼りに、木之内さんに手紙を送ったことから実現しました。限られた滞在時間でしたが、義人さんと一緒に22年前に訪問した神栖二中を訪れたり、当時の写真アルバムを見ながら思い出を語り合ったりするなど、旧交を温めました。

義人さんは、「今回、ジェフリーさんから手紙をいただいて、とてもうれしかったです。連絡先を交換したので、これから交流を続けていき、今度はジェフリーさんを訪ねていきたいです」と話していました。

最後に、石田市長を表敬訪問したジェフリーさんは、市長から2018年にユーリカ市の「Kamisu Park」に植樹した桜の様子について尋ねられ、帰国後に「Kamisu Park」の様子を写真に納め、義人さんを通じて報告することを約束しました。